

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年7月8日(2010.7.8)

【公表番号】特表2009-538935(P2009-538935A)

【公表日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-045

【出願番号】特願2009-513472(P2009-513472)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/07 (2010.01)

C 1 2 N 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/76

A 6 1 P 35/00

C 1 2 N 5/00 E

C 1 2 N 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月24日(2010.5.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

(要旨)

本発明は、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 およびM - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する粘液腫ウイルス(MV)に関する。このようなウイルスは、癌細胞を抑制するための方法および医薬の製造において使用され、この方法は、この細胞に有効量の粘液腫ウイルスを投与する工程を包含する。これらのウイルスはまた、癌を有するヒト被験体を処置するための方法および医薬の製造において使用され、この方法は、患者に有効量の粘液腫ウイルスを投与する工程を包含する。本発明はまた、このような粘液腫ウイルスと薬学的に受容可能なキャリアとを含む薬学的組成物、ならびに癌患者を処置するためのこのような粘液腫ウイルスと説明書とを含むキットを提供する。

本発明は、例えば以下の項目を提供する。

(項目1)

癌細胞を抑制するための方法であって、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 およびM - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する粘液腫ウイルスの有効量を該細胞に投与する工程を包含する、方法。

(項目2)

前記粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 およびM - T 7 からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、項目1に記載の方法。

(項目3)

前記細胞が哺乳動物癌細胞である、項目1に記載の方法。

(項目4)

前記細胞がヒト癌細胞である、項目3に記載の方法。

(項目5)

前記細胞がグリオーム細胞である、項目4に記載の方法。

(項目6)

癌を有するヒト被験体を処置するための方法であって、該患者に、M11L、M063、M136、M-T4およびM-T7からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する粘液腫ウイルスの有効量を投与する工程を包含する、方法。

(項目7)

前記粘液腫ウイルスが、M11L、M063、M136、M-T4およびM-T7からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、項目6に記載の方法。

(項目8)

前記癌がグリオームである、項目6に記載の方法。

(項目9)

癌細胞を抑制するための粘液腫ウイルスの有効量の使用であって、該粘液腫ウイルスが、M11L、M063、M136、M-T4およびM-T7からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、使用。

(項目10)

癌細胞を抑制するための医薬の製造における粘液腫ウイルスの有効量の使用であって、該粘液腫ウイルスが、M11L、M063、M136、M-T4およびM-T7からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、使用。

(項目11)

前記粘液腫ウイルスが、M11L、M063、M136、M-T4およびM-T7からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、項目9または10に記載の使用。

(項目12)

前記細胞が哺乳動物癌細胞である、項目9または10に記載の使用。

(項目13)

前記細胞がヒト癌細胞である、項目12に記載の使用。

(項目14)

前記細胞がグリオーム細胞である、項目13に記載の使用。

(項目15)

癌を有するヒト被験体を処置するための粘液腫ウイルスの有効量の使用であって、該粘液腫ウイルスが、M11L、M063、M136、M-T4およびM-T7からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、使用。

(項目16)

癌を有するヒト被験体を処置するための医薬の製造における粘液腫ウイルスの有効量の使用であって、該粘液腫ウイルスが、M11L、M063、M136、M-T4およびM-T7からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、使用。

(項目17)

前記粘液腫ウイルスが、M11L、M063、M136、M-T4およびM-T7からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、項目15または16に記載の使用。

(項目18)

前記癌がグリオームである、項目15または16に記載の使用。

(項目19)

癌の処置に使用するための粘液腫ウイルスと薬学的に受容可能なキャリアとを含む薬学的組成物であって、該粘液腫ウイルスが、M11L、M063、M136、M-T4およびM-T7からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、薬学的組成物。

(項目20)

前記粘液腫ウイルスが、M11L、M063、M136、M-T4およびM-T7からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、項目19に記載の薬学的組成物。

(項目21)

前記癌がグリオームである、項目19に記載の薬学的組成物。

(項目22)

癌を有する患者を処置するための粘液腫ウイルスと説明書とを含むキットであって、該粘液腫ウイルスが、M11L、M063、M136、M-T4およびM-T7からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、キット。

(項目23)

前記粘液腫ウイルスが、M11L、M063、M136、M-T4およびM-T7からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、項目22に記載のキット。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

癌細胞を抑制するための組成物であって、M11L、M063、M136、M-T4およびM-T7からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する粘液腫ウイルスの有効量を含む、組成物。

【請求項2】

前記粘液腫ウイルスが、M11L、M063、M136、M-T4およびM-T7からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記細胞が哺乳動物癌細胞である、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記細胞がヒト癌細胞である、請求項3に記載の組成物。

【請求項5】

前記細胞がグリオーム細胞である、請求項4に記載の組成物。

【請求項6】

癌を有するヒト被験体を処置するための組成物であって、M11L、M063、M136、M-T4およびM-T7からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する粘液腫ウイルスの有効量を含む、組成物。

【請求項7】

前記粘液腫ウイルスが、M11L、M063、M136、M-T4およびM-T7からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、請求項6に記載の組成物。

【請求項8】

前記癌がグリオームである、請求項6に記載の組成物。

【請求項9】

癌細胞を抑制するための医薬の製造における粘液腫ウイルスの有効量の使用であって、該粘液腫ウイルスが、M11L、M063、M136、M-T4およびM-T7からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、使用。

**【請求項 10】**

前記粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 およびM - T 7 からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、請求項9に記載の使用。

**【請求項 11】**

前記細胞が哺乳動物癌細胞である、請求項9に記載の使用。

**【請求項 12】**

前記細胞がヒト癌細胞である、請求項11に記載の使用。

**【請求項 13】**

前記細胞がグリオーム細胞である、請求項12に記載の使用。

**【請求項 14】**

癌を有するヒト被験体を処置するための医薬の製造における粘液腫ウイルスの有効量の使用であって、該粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 およびM - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、使用。

**【請求項 15】**

前記粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 およびM - T 7 からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、請求項14に記載の使用。

**【請求項 16】**

前記癌がグリオームである、請求項14に記載の使用。

**【請求項 17】**

癌の処置に使用するための粘液腫ウイルスと薬学的に受容可能なキャリアとを含む薬学的組成物であって、該粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 およびM - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、薬学的組成物。

**【請求項 18】**

前記粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 およびM - T 7 からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、請求項17に記載の薬学的組成物。

**【請求項 19】**

前記癌がグリオームである、請求項17に記載の薬学的組成物。

**【請求項 20】**

癌を有する患者を処置するための粘液腫ウイルスと説明書とを含むキットであって、該粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 およびM - T 7 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、キット。

**【請求項 21】**

前記粘液腫ウイルスが、M 1 1 L、M 0 6 3、M 1 3 6、M - T 4 およびM - T 7 からなる群より選択される前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、請求項20に記載のキット。

**【請求項 22】**

M 0 6 3 およびM 1 3 6 からなる群より選択される粘液腫ウイルスタンパク質の活性に欠損を有する、単離された粘液腫ウイルス。

**【請求項 23】**

請求項22に記載の単離された粘液腫ウイルスであって、該粘液腫ウイルスが前記粘液腫ウイルスタンパク質の活性を実質的に有さない、粘液腫ウイルス。